



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2020年4月以降にバイオバンクおよび知的障害の遺伝学的研究に関する追加説明を受けてご参加いただいた方

【研究課題名】

ナショナルセンター・バイオバンクの検体収集体制の構築

【研究責任者】

後藤雄一（国立精神・神経医療研究センター 疾病研究第二部）

【本研究の目的及び意義】

知的障害の原因となっている遺伝子を見つけ、病気の成り立ちを明らかにすること。それにより正確な診断と、望ましい医療、有効な治療法を開発する第一歩となる

【本研究に提供する試料・情報】

DNA
診断

【研究期間】

2015年5月22日 ～ 2023年3月31日

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail : biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)